

会派代表質問

財政健全の強化とコロナ対策や、自然災害対策の強化を目指して

公明党

秋葉 好美 議員



問 本市の財政状況について、経常収支比率、どのくらいか、お聞かせください。

答 経常収支比率は、社会情勢の変化や住民からのニーズに的確に対応するため、十分な財源を確保しているかという行政需要への対応能力を測る重要な指標となります。令和2年度における本市の経常収支比率は99.6パーセントであり、昨年度よりも0.1ポイント下がっているものの、依然として厳しい状況です。

問 市債を発行しているわけですが、現在の負債額はどのくらいなのか、またどのくらいで回復見込になるのか伺います。

答 一般会計と土地区画整理事業特別会計を合わせた普通会計における市債残高は、令和2年度末時点で約161億8,944万円の状況にあります。市債の償還額は令和4年度にピークを迎えることから、新規の市債発行額を抑制することにより令和5年度以降の償還額は減少していく見込みであります。

市長事務報告の中にも「危機的な状況を踏まえ、財政健全化に向けた緊急的な取組について、歳入歳出に徹底した見直しをして令和4年度当初予算編成に当たってまいります。持続可能な財政運営に努めてまいります」とありました。宜しくお願致します。

財政対策債等で補填されるものの、安定的な財政運営を行うためには新たな財源確保が急務となっております。昨年度から重点的に取り組んでいるふるさと納税は、コロナ禍の外出自粛に伴う巣こもり需要を捉え、前年度を上回る増収が見込まれており、市税の減収を補う貴重な財源の一つとなっております。

大変な中ではありますが、財源の確保、特に交付金等の活用も視野に入れてお願い致します。

問 次に、コロナ対策について伺います。65歳以上の接種について、希望されている方の第1回目と第2回目の接種率について、また64歳以下の方の第1回目と第2回目、更に12歳以上の市全体の接種率も併せてお聞かせください。

答 9月6日現在における65歳以上の1回目接種率は84.6パーセント、2回目の接種率は81.7パーセントです。64歳以下の1回目の接種率は45.5パーセント、2回目の接種率は33.6パーセントとなっております。また、12歳以上の市全体の1回目の接種率は59.9パーセント、2回目は51.4パーセントです。

全国でも希望されている方の1回目の接種率が59パーセント、2回目の接種率が46パーセントという報道でありました。本市もほぼ順調に接種されていると思います。健康増進課の皆さんはじめ関係各位の皆さんの努力のたまものではないか、心より感謝申し上げます。要望として、変異株が猛威を振るっています。特に20歳代から50歳代の方の幅広い感染拡大をしています。市民の皆さんに変異株の危険さ、命を守るための周知をお願い致します。

関連質問

引問真理子議員



問 子宮頸がん予防ワクチンについて、思春期・若年成人15歳から39歳のがんは25歳を過ぎると急速に増え子宮頸がんは20代で5番目、30代では2番目に多くなり、ワクチン接種により予防が可能ながんです。定期接種対象は小学6年生から高校1年生で自己負担なしで接種することができます。ワクチン接種の周知について伺います。

答 HPVワクチン接種の対象となる中学1年生の女子とその保護者宛てに本年5月ご案内と厚生労働省のリーフレットを通知したところで、子宮頸がんのリスクを下げるためにも正しい情報を伝え、家族で話し合うなどしてほしいと思います。

問 地域における自治活動について、近年、人間関係が希薄になり自治会に入らない、やめてしまう方もおり、少子・高齢化が進む中、地域によっては問題になっております。近年の自然災害、防災等においては地域における自助・共助は重要で、自治会の果たす役割は大きくなっております。自治会の加入率と維持について。

答 区・自治会への加入世帯が66%と減少している状況がございます。安心・安全な住みよいまちをつくるため、より多くの住民の皆様が区・自治会活動にご参加いただけるよう加入の啓発を行ってまいります。

関連質問

上代和利議員



問 大綱、増穂、白里地域の高齢化率と特別養護老人ホーム入所待機者の数について伺います。

答 令和3年8月1日時点で、大綱地区26.4%、増穂地区40.4%、白里地区43.4%、市全体で33%です。特養入所待機者は、令和3年1月1日時点で71人、4月に季美の森地区に特養が開設したこともあり、7月1日時点では59人です。

問 第8期高齢者福祉計画と今後の重点政策について伺います。

答 具体的には、健康づくり事業や介護予防事業の充実を図ると共に地域の見守りや助け合いによる支援の取り組みとして、生活支援体制整備事業の推進を掲げている。また認知症サポーターの養成や認知症予防活動のほか、QRコード付きフレブルシートを導入し、9月1日から配布を開始した。本計画に基づき認知症高齢者グループホームの整備運営事業者の公募も実施しています。

問 地域包括支援センターの過去3年の相談件数と今後の対応についてお聞かせください。

答 過去3年間の相談件数は、平成30年度1,980件、令和元年度2,290件、令和2年度は1,891件で、令和2年度はコロナの影響で減少したのが年々増加傾向にあります。市の運営体制としては、市役所内に直営の地域包括支援センターを1か所、在宅介護支援センターを委託により2か所設置し、相談支援を24時間365日体制で対応している。今後も、現在の体制を維持しながら強化を図ってまいります。

また他にも、介護人材確保について、高齢者へのスマホ講座開設について、他も質問をさせていただきます。

個人質問

靴下の色や形まで細かく規制する全体主義教育をやめよう！

黒須 俊隆 議員



問 前回、大綱中学校生徒靴下の色、形、絵柄を細かく取締ることについて質問しました。管理課長は、①清潔感を保つ②ルールを定めることで、落ち着いた雰囲気や学校生活を送れる。③子ども同士の経済的な格差が生じないようにする、この3つを答弁された。この答弁は本当ですか。

もありません。こうした学校の校則については、学校において様々な過程を経て今日に至ったものであり、教育委員会といたしましても、各学校のこれまでの取組を尊重したいと考えています。同時に、時代の流れや生徒を取り巻く状況などの変化により、保護者、生徒、教職員で十分に検討しながらルールの見直しをしていくことも大切であると認識しています。

①白い靴下だと清潔感が保てるという点については、こんな表層的なものが教育ですか。真っ黒に汚れても、石けんですっかり洗っていれば問題ないじゃないですか。それを白い靴下じゃなきゃ清潔感が保てないそんな教育をしているから、親にもプレッシャーがかり、白い靴下、白いワイシャツ、白い体操服を毎日多量の合成洗剤と漂白剤漬けにして、真っ白にしているのです。本市が進めているSDGsでは、合成洗剤と漂白剤をじゃぶじゃぶ使って真っ白にするのでもいいのですか。

②ルールを定めると落ち着いた雰囲気や学校生活が送れるようになる。何ですかこれは。昭和初期の国民学校以来の全体主義教育そのものではないですか。靴下の色や柄、形まで規制しないと、落ち着いた授業もできないというの、もはや教育の放棄ではありませんか。

③経済格差と言いつつ、高価な制服、体操服、ジャージ、自転車、かばん、ヘルメット、何から何まで指定して、規制して、貧困家庭をいたぶっているとしか思えない。

答 校則については、市内各学校ごとに定められています。例えば靴下に関する規定については、生徒総会等で議題に上げて話し合い、紺や黒の靴下もよいのではないかとという結論に至り、ルールを変更した中学校

問 教育委員会と教育長の見解を聞いています。たとえば校長や生徒がいとかいらないと言っても、子どもの権利条約は守らなきゃいけないし、全ての学校図書館には『こども六法』を置くべきだ。労働法を学んでから職場訪問をする必要がある。生徒と考えるという悠長なことを言う場合ではない。この画一的な全体主義教育が、子どもの個性を育てることを阻害している。好きな色形のかばん、靴下でいいじゃないですか。昔のいわゆる不良学生は、学ランの後ろに竜が昇っていた。これは江戸時代からある日本の文化です。男の着物の裏地の文化、裏勝りと言うそうです。江戸時代に奢侈禁止令が度々出された。そこで、表地は質素な着物で裏はおしゃれするという。学生服の裏に竜が昇っていたっていいじゃないですか。これが子どもの個性であり、それを包摂して子どもを育てられないとしたら、もう学校教育は要らない。全部リモートでいいとなりますよ。